



プラスチック類資源化施設 建築工事の地元説明会を開催



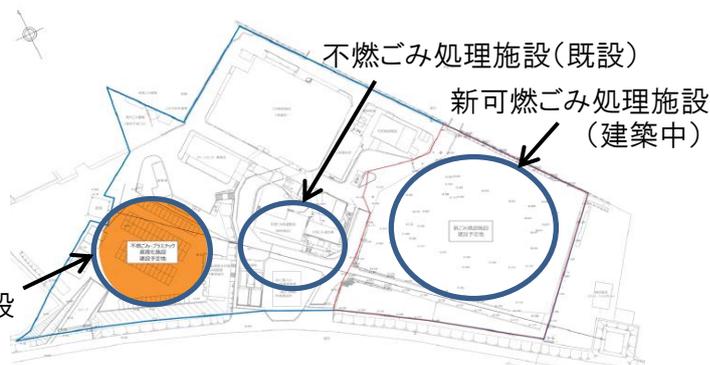
施設完成イメージ図(浅川側より)

プラスチック類資源化施設の建築工事着手に先立ち、7月7日に建築工事に関する地元説明会を東部会館にて開催しました。これは、クリーンセンター周辺(新石、新井、百草園団地、百草園、落川上の各自治会地域など)の皆さまを対象に行ったもので、工事概要、工程、工事中の安全対策などについて説明しました。主な内容は以下のとおりです。

1. 工事場所

日野市石田 1-210-2
クリーンセンター内

プラスチック類資源化施設



2. 工事概要

① 工事期間および作業時間

平成32年3月までの、原則午前8時～午後5時※日曜日、年末年始は休工予定

② 工事車両の通行

浅川堤防道路を通行します(一日の通行量は最大50台程度を予定)

③ 安全対策

工事車両が通行・出入りする場所にはガードマンを配置し、車と人の動線を整理して安全確保に努めます。

④ 騒音振動対策

法律を順守し、工事中の騒音振動を出来るだけ少なくするように努力します。

3. 地元説明会での主な質問・意見および回答

質問

プラスチックにはさまざまな種類があり、細かく分別すればリサイクルも容易になる。より細かく分別する方がいいのではないか？

プラスチック製品は多様に存在するため、収集したごみはプラスチック製容器包装と製品プラスチックに分別してリサイクルを行う予定です。

質問

プラスチック製容器包装を収集した後、最終的にどのような形でリサイクルされるのか？

日本容器包装リサイクル協会を通じて再商品化事業者に引き渡されます。また、マテリアルリサイクルやサーマルリサイクルとして国内で再利用もされます。

意見

日野市がプラスチックの分別を前倒して実施する事は、市民全体にとって大変良い事だと思う。また、その進め方については、市民から出た意見を反映してほしい。

今後も貴重なご意見を参考に、施設建設を進めていきますので、ご理解・ご協力をお願いします。

3市ごみ減量推進市民会議を開催しました

可燃ごみの共同処理を行う日野市、国分寺市、小金井市の市民による「3市ごみ減量推進市民会議」が発足し、7月24日に第1回会議を開催しました。

この会議では、共同処理を巡る日野市の置かれている状況や3市の覚書の内容など、広く市民に周知すべき内容に関する周知方法の検討や更なるごみ減量の推進に向けた施策の検討を行います。



1. 委員構成

17人

〔学識経験委員1人、市民委員12人（日野市4人、国分寺市4人、小金井市4人）、行政職員4人（ごみ減量推進担当課長各市1人、浅川清流環境組合課長1人）〕

2. 内容

委嘱式

協議事項（会議の公開について、委員長および委員長代理についてなど）

3市ごみ減量推進市民会議について

報告事項（3市のごみ処理状況について）

3. 決定事項

- 会議は原則公開し、要点録を作成。委員確認後に市ホームページで公開する。
- 委員長は学識経験委員に、委員長代理は日野市ごみゼロ推進課長に決定。
- 会議の名称を「3市ごみ減量推進市民会議」とする。